



### 三村奈々恵（みむら・ななえ）

国立音楽大学打楽器専攻を首席卒業後、渡米。ボストン音楽院にて修士号を取得し、バークリー音楽院で講師を務める。学生時代より、卓越したテクニックと詩情豊かなサウンドが評価され、史上3人目の「アロージ賞」（スイス）を受賞する等、国際コンクールで優勝を重ねる。

国際的若手アーティストの登竜門とされるニューヨークの「コンサート・アーティスト・ギルド・コンペティション」では、ソロで最高賞を獲得。マリンバ・ソロとしては初の受賞者となった。その後、ニューヨークの「カーネギー・ホール」でデビュー・リサイタルが開催され、一躍世界に名を広めた。

これまで、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、中南米など、世界20カ国から招聘され、演奏活動を行ってきた。なかでも、マリンバが国家象徴に定められたグアテマラでは、過去4回の招聘で国立オーケストラとの共演を果たし、2001年には「グアテマラ・マリンバ協会」より初の名誉会員（第1号）に任命された。クラシックからポップス、民俗音楽まで、ジャンルを越えて幅広く演奏活動を行ない、これまでにアルバム4枚をリリースしている。

近年では、作曲家・吉松隆氏にマリンバ協奏曲《バード・リズムクス》Op.109 を委嘱し、2010年11月、飯森範親氏指揮のもと京都市交響楽団と世界初演。その後、山形交響楽団（2011年・飯森範親氏指揮）、東京フィルハーモニー交響楽団（2011年・藤岡幸夫氏指揮、2016年・鈴木優人氏指揮）、東京交響楽団（2015年・飯森範親氏指揮）と再演した。2014年には日本コロムビア（DENON）より、同曲を山形交響楽団と共演したライブ録音がCD発売された。

2013年「ラテン・アメリカ・マリンバ・コンクール」（メキシコ）、「ユニバーサル・マリンバ・コンクール&フェスティバル in ベルギー」、2016年「第3回イタリア国際打楽器フェスティバル&コンクール」において審査員を務めたほか、2013・14年「パーカッション・フレンズ室内音楽アカデミー in アムステルダム」や「ゼルツマン・マリンバ・フェスティバル」（アメリカ、各国）にて定期的に講師を務める等、後進の指導にも積極的に力を注いでいる。国内では「八ヶ岳マリンバ・キャンプ」を主宰。

アメリカ・アンコール社より三村奈々恵モデルのマレットが開発・発売されている。ヤマハアーティスト。

#### 《コンクール受賞歴》

1997年 日本打楽器協会主催新人演奏会・グランプリ受賞

1997年 PAS (Percussive Arts Society) (LA, USA) 主催

マリンバ・ソロ・コンクール第1位受賞

1998年 ルガーノ（スイス）音楽祭コンクール in Boston 第1位受賞

1999年 Concert Artists Guild Competition (NY, USA) 優勝受賞

問い合わせ先

株式会社 1002 [イチマルマルニ] (所属事務所)

〒102-0083 東京都千代田区麴町 1-3-7 日月館麴町ビル 3階

電話（代表）：03-3264-0244 FAX：03-3264-1788

担当：佐々木 麻衣 [sasaki@1002.co.jp](mailto:sasaki@1002.co.jp)